

備える。

準備。予備。整備。装備。守備。警備。
そなえる…用意する、そろえる、用心する
防備。常備。完備。不備。具備。兼備。
そなえ…しだく、用意。警戒。防衛
備品。設備。備蓄。備費。備考。備忘。
そなわる…準備ができる、身に付く
●●●ソナエ アレバ ウレイナシ!!

4

no.

かわさき
防災広報紙

昭和59年10月31日発行
編集・発行：
川崎市土木局防災対策室
〒210 川崎市川崎区宮本町1番地
TEL.(044)200-2111内線2841



生きる、ということ。

いま、地球の上に

生きていくということ。

自分のいのちを

自分で守るということ。

備えるということ。

そのときに備えて…

去る9月14日午前9時前、「長野県西部地震」が発生しました。直下型地震で、マグニチュード6・9。震度は、長野県飯田で4、震源地の同県木曾・王滝村では、震度6相当の揺れだといわれています（関東大地震と同じ程度）。川崎市内でも、震度3弱震程度の揺れがありました。

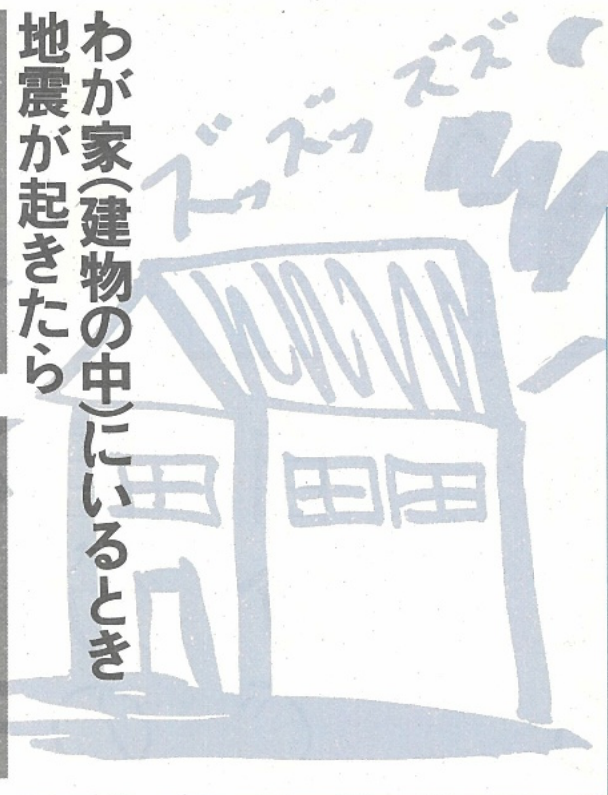
ちようど、朝食の後かたづけ中、通勤・通学の途中、あるいは職場で仕事のさなか…だったことと思います。あなたは、「そのとき」、どこで、何をしていた、どのような行動をとったのでしょうか。

わたしたちを、突然おそってくる地震。安全な所にいるとき、地震が起こるとは限りません。家にいるとき、繁華街にいるとき、電車や車に乗っているとき、海辺にいるときなど、どこにいたときに起こるかわかりません。

大地震発生の「そのとき」に備えて、日ごろからの準備をすることはもちろん、どこにいても、地震に対して最も安全な行動をとれるよう、心がけておきましょう。

そのとき、その場で、身の安全を

こんなところで地震にあったら



わが家(建物の中)にいるとき 地震が起きたら

◎まず、わが身の安全

あわてずに、丈夫なテーブルや机の下など身近で最も安全な場所に身を寄せる。

◎すばやく火の始末

大地震で一番恐ろしいのは、火災です。地震を感じたら、すばやく火の始末をする。

- ガラスのそばは、さける
- たなや倒れやすい家具のそばは、さける
- あわてて外に飛び出さない
- 避難口を確保する
- 小さい子どもやお年寄り、病人がいる家庭では特に日ごろからの備えが必要です。

- そのときできなかった場合には、揺れがおさまった後すぐに火の始末を。
- 万一、出火した場合は、初期のうち消すことが肝心。とり近所で声をかけあい協力して消火することを心がけておきましょう。

◎商店街・ビル街など

- ガラスの破片、看板、ネオンサイン、瓦などの落下物に注意
- カバン、買い物袋などで頭を保護する
- 近くの丈夫なビルなど安全な場所に避難して、様子を見る
- 初期消火に協力する
- 鉄筋コンクリートの建物は、一般に安全

◎デパート、劇場、地下街など

- 天井や壁からのガラスの破片などの落下物に注意する
- あわてて、出口や階段に殺到しない
- 停電になっても誘導灯がつくので、落ちついて係員の指示に従って行動する

◎自動車

- 揺れを感じたら、速度を徐々に落としながら道路の左側に寄せてとめる
- エンジンを切り、カーラジオで情報をとる
- 警察官などの指示に従う
- 避難するときは、キーをそのままにして徒歩でする

◎電車

- 背もたれ、つり革、柱や横木につかまる
- 荷物棚からの落下物に注意する
- 電車は揺れて一時止まることになっている。しかし、あわてて電車の外に出ると危険です(特に地下鉄)
- 係員の指示に従って行動する(地下鉄で一時停電になっても非常照明がつく)

◎うちのまわり

- ブロック塀、門柱、石垣のそばをさける
- 瓦、ガラス片などの落下物に注意する
- 近くで火災が発生したときは、協力して消火する

◎海岸、がけ

- 海辺では、津波に注意し、すばやく高い所に避難し、情報に注意する
- がけの近くでは、地すべりやがけ崩れが起こりやすくなるので遠ざかる



78宮城県沖地震(河北新報社提供)

★応急手当……レッスン4 脱臼・ねんざなど

脱臼

- 脱臼とは、関節がはずれることです。あご、肩、肘、指に起こりやすく、すぐにきちんと治しておかないと、あとで関節が動きにくくなります。
- 1 自分でもとに戻そうとしないこと。
- 2 患部を冷やします。
- 3 包帯や三角巾で動かないよう固定し、医師のところへ行きましょう。

ねんざ

- 1 やたらにもんだり、さすったりしないこと。
- 2 患部を冷水または氷のうで冷やします。手は吊り、足は座布団や机の上のせて高くし、包帯や三角巾で固定し安静にします。

- 3 骨折も同時に起こしていることがあるので、十分に注意します。
- 4 患部を動かさないようにして、早めに医師の診療を受けましょう。

こむらがり

- ケガも何もしないのに、急に土ふまずやふくらはぎが引きつったようになり、ひどく痛み、動かせなくなることです。
- 1 足先をつかみ、足をそらせるように引っぱり張ります。
- 2 患部を保温し、マッサージして血行をよくします。

アキレス腱が切れたら

- 急にけいしスポーツなどをすると起こります。また、中年以上の入だと、はげしくなくても切れてしまうことがあります。
- 1 絶対に立ったり歩いたりしないように。腹ばいになり、足の甲をできるだけ床面につけるようにし足先を伸ばします。
- 2 副子を使って、すねから足先まで固定します。
- 3 動かさないで、早々に医師の診療を受けます。

ボーサイ君



体験談 その4

震度5 78宮城県沖地震体験記集 (仙台市提供)

6月12日、午後5時6分ごろ、帰宅途中の私は、「地震かな」と思い、一瞬立ち止った。見上げるとなるほど電線がゆれていたが、たいしたことはないと思った。駅前バス停まで歩いた私は、突然「ドーン」という音にびっくりし、足を止めた。ものすごい揺れとともに、近くのバス停に並んでいた女の人達は、「キャー」という悲鳴を上げ座り込んでしまった。

ビルの窓からガラスの破片が落下し、近くを走っていた車は前のタクシーと衝突し、建物はミシミシという音をたてて揺れている。私は一瞬何をしてもいいの判断できず、その場に立ちすくんでしまった。その激しい揺れは、とても長い時間と恐怖を与えた。

揺れが止んだ直後、近くの電話ボックスに飛び込み、家へ連絡しようと思った。電話はなかなか通ぜず、不安はますますつのってきた。5回目ようやく通じ、妻に詳細をたずねると、家の中が惨憺たる状態であるというので、すぐタクシーに飛び乗った。が、しかし、交通が渋滞し10分のところを30分かかった。後で友人から話を聞くと、

30分ぐらいは良い方で、1時間半もかかったという。家へ着くと、妻と子供は外に出たまま家での中へ入ろうとしなかった。家の中は手のつけられない状態だった。とにかく、食べ物と寝る所を確保しなくてはならないと思い、夢中で片付けた。倒れたタンス、食器棚、サイドボードのガラスが壊れ、室内はガラスの破片で足の踏み場もなかった。携帯ラジオからは各地の状況が刻々と伝えられていた。午後8時すぎようやく一段落し、夕食をとった。電気もガスも水道も止まり、現代の文明を全く失った生活。幸いにも登山の経験が役に立ち、飯ごうで飯を炊いたが、ろうそくの灯の下で簡単な食事となる。ラジオからは各地の被害の状態や、無事を伝え合う人々の情報……大きな地震であったことをあらためて感じた。

食事を終えた後、近所の人達と協力し、各家々の外れた玄関の戸を直し、倒れたタンス等を元通りにした。時計は午後11時を過ぎていた。

翌日、出勤すると、線路は各地で分断し、鉄橋、トンネル、架線等に異常が見つかり、各線とも運転の見込みがたたないというところであった。交通機関は完全なマヒ状態に陥った。スーパーでは食料や乾電池が売り切れ、野菜の値段が暴騰した。快適な生活に慣れた私達に自然は警告を与えてくれた。(一部省略)

佐藤忠男さん 国鉄職員

(先月号の高橋明子さんの作文も仙台市提供のものです)